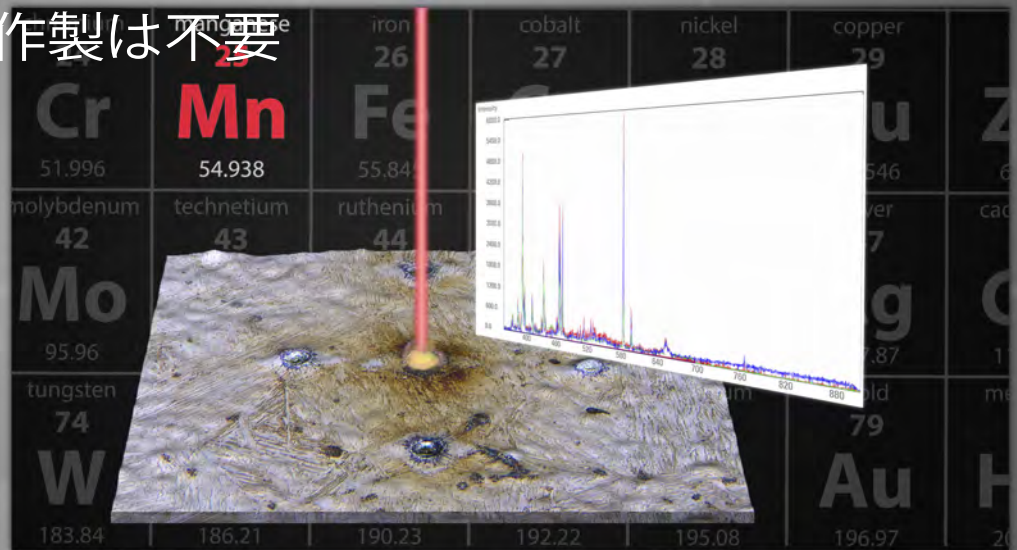


2 システムを 1 つに統合、拡大観察と化学分析が 1 台で

1 秒で元素分析

0 特別な試料作製は不要



DM6 M LIBS コンタミ・異物の自動測定と元素分析ソリューション

## 検査 & 分析時間を 90% 節約、VDA19 にも適合

ライカ顕微鏡と LIBS モジュールを組み合わせ、自動車部品等のコンタミ・異物の自動測定と元素分析を 1 台で、スピーディに実施できます。顕微鏡を使用した画像解析システムで微粒子を検出後、LIBS を使用して、VDA19 に準拠した残留異物の元素分析を実施できます。従来の光学顕微鏡で観察後、走査型電子顕微鏡 (SEM) / エネルギー分散型 X 線分析 (EDS) で分析するワークフローに比べ、検査時間を 90% 節約できます。試料を装置間で移動する必要もなく、関心対象を見失うリスクもありません。

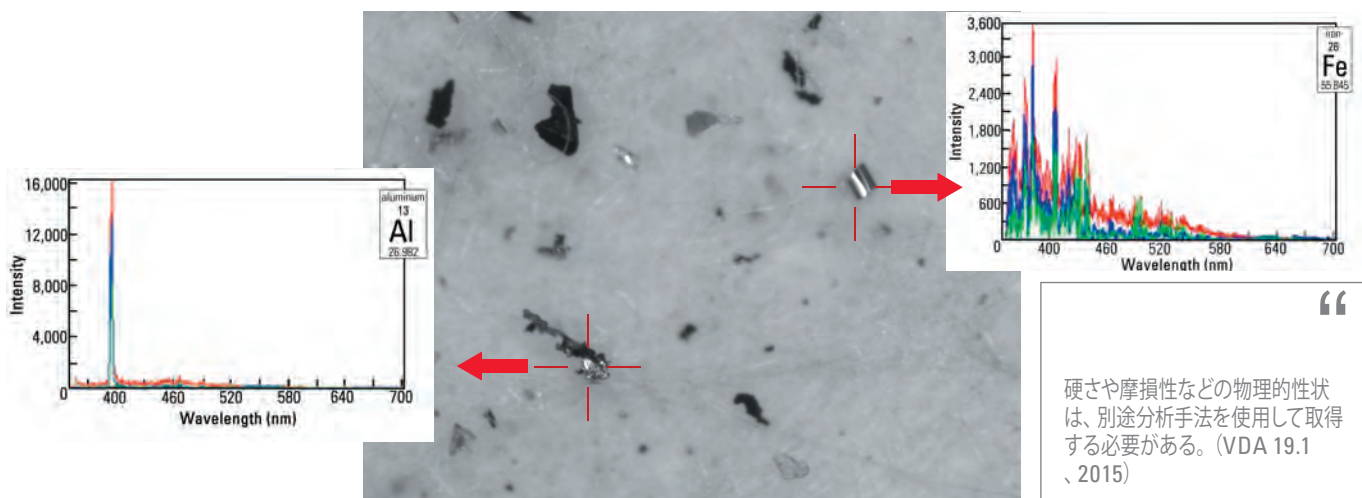
DM6 M LIBS 清浄度ソリューションの利点:

- > VDA19 準拠の残留異物解析と成分の特定
- > コンタミ・パーティクルの形状測定に加えて、元素組成を 1 台で同定でき、コンタミ源を追求可能です。
- > 従来の走査型電子顕微鏡を用いた分析手法に比べ、時間を 90% 短縮可能



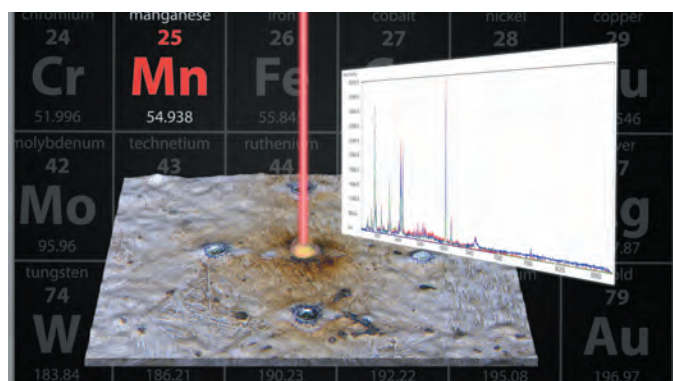
## 90% 時間短縮、正確な結果をもたらす

LIBS モジュールは従来の拡大観察と画像処理による自動測定に加え、化学分析の実施を one-stop で実現可能にします。目視で確認した物質の組成分析が数秒で実施でき、従来の走査型電子顕微鏡 (SEM)/エネルギー分散型 X 線分析 (EDS) に比べ所要時間を 90% 節約できます。



### LIBS による分析

LIBS は、Laser Induced Breakdown Spectroscopy の略で、レーザー誘起ブレイクダウン分光法を意味します。サンプル表面に短パルスでレーザーを当てることで発生するマイクロプラズマを用いた高速な化学分析手法です。金属、半導体、ガラス、生体組織、絶縁体、プラスチック、土壌、植物、表面塗料、電子材料等、幅広いマトリクスに対応可能です。



CONNECT WITH US!

Leica Microsystems GmbH | Ernst-Leitz-Strasse 17-37 | D-35578 Wetzlar (Germany)  
Tel. +49 (0) 6441 29-0 | Fax +49 (0) 6441 29-2599

[www.leica-microsystems.com/libs](http://www.leica-microsystems.com/libs)

